

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 2 月 5 日

上場会社名 アイカ工業株式会社 （コード番号：4206 東・名第 1 部）
（URL <http://www.aica.co.jp>）

代表者 代表取締役社長 富田 章 嗣
問合せ先責任者 代表取締役専務 経理部担当 近藤 憲 一 (TEL: 052-409-8243)

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

- (1) 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有
影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。
- (2) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
- (3) 公認会計士または監査法人による関与の状況 : 無

2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

〔単位：百万円未満切捨〕

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	64,700	11.4	6,805	14.3
平成 15 年 3 月期第 3 四半期	58,067		5,953	
(参考) 平成 15 年 3 月期	79,678	0.5	8,186	11.8

	経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	6,891	14.6	3,718	
平成 15 年 3 月期第 3 四半期	6,015			
(参考) 平成 15 年 3 月期	8,257	10.5	3,830	18.2

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期（同期）増減率を示します。
2. 平成 15 年 3 月期第 3 四半期の数値については、参考情報として社内管理用に作成しているものを記載しております。
3. 経営成績の数値については、平成 15 年 3 月期以外は監査法人による監査を受けておりません。

(事業セグメント別連結売上高)

〔単位：百万円未満切捨〕

事業セグメント	平成 16 年 3 月期第 3 四半期		(参考) 平成 15 年 3 月期	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
化成品	19,125	29.6	22,183	27.8
建築材	19,014	29.4	24,301	30.5
住器建材	22,116	34.2	27,878	35.0
電子	3,193	4.9	4,075	5.1
その他	1,251	1.9	1,239	1.6
合計	64,700	100.0	79,678	100.0

(注) 平成 16 年 3 月期から、セグメントの名称を「化粧板」から「建築材」へ変更しております。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等】

当第3四半期におけるわが国経済は、株価の回復や製造業を中心とした企業収益の改善により設備投資が持ち直すなど回復基調がみられました。

住宅市場を取り巻く環境は、住宅ローン減税が縮小される前に購入しようとする駆け込み需要などで新設住宅着工件数は底堅く、またリフォーム需要も着実に顕在化するなど概ね順調に推移いたしました。

このような中であって、当社グループは、潜在需要の大きいリフォーム市場の掘り起こしに注力するとともに、「環境と健康」にやさしい商品の開発・販売に積極的に取り組みました。

化成品部門は、シックハウス対策として昨年7月に施行された改正建築基準法で使用面積の制限を受けない最上級のFフォスターにランクされる接着剤系商品や意匠・機能面を強化した樹脂系商品が市場の高い評価を受け売上が伸びることができました。

建装材部門は、化粧板の素材連携を強化した商品が商業施設や医療福祉分野などで幅広く採用されるとともに、意匠と機能を高めた新商品の投入が市場拡大に寄与いたしました。また、改正建築基準法に対応した環境配慮型の化粧合板が建装市場で高い評価を受け売上が拡大することができました。

住器建材部門は、不燃化粧材の木質建材ルートへの積極的な営業展開とリフォーム物件の獲得を進めるとともに、インテリア建材においては、現在のデザイントレンドである「シンプル&モダン」に合致した新商品が市場ニーズにマッチし、堅調に売上が伸びることができました。

電子部門は、プリント配線板の高速大容量化に対応した高速伝送技術と電磁波障害対応技術が高い評価を受けるとともに、技術サービスや短納期対応が奏功し売上が伸びることができました。

以上の結果、当第3四半期までの売上高は647億00百万円、経常利益は68億91百万円、四半期純利益は37億18百万円となりました。

（2）財政状態（連結）の変動状況

〔単位：百万円未満切捨〕

	総資産	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	%
平成16年3月期第3四半期	71,169	45,632	64.1
（参考）平成15年3月期	68,685	43,909	63.9

（注）財政状態の数値については、平成16年3月期第3四半期については監査法人による監査を受けておりません。

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期の財政状態は以下の通りであります。

対前連結会計年度末と比較して、総資産は24億83百万円増加（対前連結会計年度末比3.6%増）しましたものの、自己株式の取得を一層進めたことにより、株主資本の増加が17億22百万円（対前連結会計年度末比3.9%増）となり、株主資本比率は0.2ポイント上昇いたしました。

資産の増減の要因は、現金及び預金の20億47百万円減少、受取手形及び売掛金の25億76百万円増加、有形固定資産の6億8百万円増加、投資有価証券の12億39百万円増加等であります。

負債の増減の要因は、支払手形及び買掛金の19億84百万円増加、その他の10億16百万円増加、未払法人税等の13億74百万円減少等であります。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想の修正 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

(単位：百万円未満切捨)

	予想売上高 百万円	予想経常利益 百万円	予想当期純利益 百万円	1株当たり予想当期純利益 円 銭	
今回修正予想(A)	87,500	9,300	4,950	75	34
前回発表予想(B)	87,500	9,000	4,850	72	72
増減額(率)(A-B)	- (-%)	300 (3.3%)	100 (2.1%)		

前回発表予想につきましては、平成 16 年 3 月期中間決算短信(連結)での業績予想数値です。

【業績予想に関する定性的情報等】

今後の見通しといたしましては、景気回復に一部明るさが見えてきたものの、イラク情勢の行方や急激な円高ドル安の進行など予断を許さない状況が続くものと思われま。

このような中、当社グループは、現在進めている中国での化成品工場の建設をはじめ海外を含めた最適生産体制の構築、社会的要請が高まっている環境経営への積極的な取り組みを進め、業績向上に努めてまいります。

なお、平成 16 年 3 月期業績予想につきましては、第 3 四半期までの業績及び今後の状況を踏まえ、中間決算時に発表いたしました予想数値を上方修正いたします。

<参考> 平成 16 年 3 月期の個別業績予想の修正 (平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)

(単位：百万円未満切捨)

	予想売上高 百万円	予想経常利益 百万円	予想当期純利益 百万円	1株当たり予想当期純利益 円 銭	
今回修正予想(A)	80,000	8,100	4,550	69	34
前回発表予想(B)	80,000	8,000	4,500	67	57
増減額(率)(A-B)	- (-%)	100 (1.3%)	50 (1.1%)		

前回発表予想につきましては、平成 16 年 3 月期個別中間財務諸表の概要での業績予想数値です。

(業績予想の利用に関するご注意)

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

添付資料

1. 要約連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別		前 連 結 会 計 年 度	
	当第3四半期連結会計期間末 (平成15年12月31日現在)		(平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	48,175,388	67.7	47,221,912	68.8
現金及び預金	8,974,673		11,022,349	
受取手形及び売掛金	33,241,727		30,665,284	
有価証券	303,644		20,100	
たな卸資産	4,321,115		4,125,185	
繰延税金資産	479,357		701,448	
その他	947,078		830,001	
貸倒引当金	92,209		142,457	
固定資産	22,994,374	32.3	21,463,912	31.2
有形固定資産	16,089,430	22.6	15,481,077	22.5
建物及び構築物	5,847,851		6,093,460	
機械装置及び運搬具	3,706,558		3,760,671	
工具、器具及び備品	789,097		714,481	
土地	4,647,291		4,668,699	
建設仮勘定	1,098,631		243,763	
無形固定資産	829,888	1.2	1,051,767	1.5
連結調整勘定	409,678		617,119	
その他	420,210		434,647	
投資その他の資産	6,075,054	8.5	4,931,067	7.2
投資有価証券	4,618,760		3,379,119	
長期貸付金	66,492		39,753	
前払年金費用	199,978			
繰延税金資産	249,193		881,107	
その他	1,029,424		700,196	
貸倒引当金	88,793		69,109	
資 産 合 計	71,169,762	100.0	68,685,824	100.0

(単位：千円)

科 目	期 別		前 連 結 会 計 年 度	
	当第3四半期連結会計期間末 (平成15年12月31日現在)		(平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負 債 の 部)		%		%
流 動 負 債	24,137,117	33.9	23,095,849	33.6
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	15,683,157		13,699,140	
短 期 借 入 金 及 び 一 年 以 内 返 済 の 長 期 借 入 金	4,284,094		4,497,529	
未 払 法 人 税 等	729,655		2,104,034	
未 払 消 費 税	215,621		195,100	
賞 与 引 当 金	608,156		1,000,136	
そ の 他	2,616,432		1,599,907	
固 定 負 債	907,114	1.3	896,778	1.3
長 期 借 入 金	36,000		54,000	
繰 延 税 金 負 債	66,670		55,293	
退 職 給 付 引 当 金	445,913		478,934	
役 員 退 職 引 当 金	223,879		196,005	
そ の 他	134,651		112,545	
負 債 合 計	25,044,232	35.2	23,992,628	34.9
(少 数 株 主 持 分)				
少 数 株 主 持 分	493,333	0.7	783,745	1.2
(資 本 の 部)				
資 本 金	9,891,708	13.9	9,891,708	14.4
資 本 剰 余 金	13,278,670	18.7	13,277,609	19.3
利 益 剰 余 金	25,811,891	36.2	23,211,181	33.8
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	817,908	1.1	38,431	0.1
為 替 換 算 調 整 勘 定	29,901	0.0	27,764	0.0
自 己 株 式	4,138,080	5.8	2,537,244	3.7
資 本 合 計	45,632,196	64.1	43,909,450	63.9
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	71,169,762	100.0	68,685,824	100.0

2. 要約連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当第3四半期連結会計期間 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	金 額	構成比	金 額	構成比
売上高	64,700,196	100.0	79,678,232	100.0
売上原価	46,825,246	72.4	57,691,924	72.4
売上総利益	17,874,949	27.6	21,986,308	27.6
販売費及び一般管理費	11,069,347	17.1	13,799,763	17.3
営業利益	6,805,601	10.5	8,186,545	10.3
営業外収益	182,299	0.3	226,694	0.3
営業外費用	95,935	0.1	155,396	0.2
経常利益	6,891,965	10.7	8,257,842	10.4
特別利益	60,662	0.1	104,742	0.1
特別損失	307,567	0.5	1,129,965	1.4
税金等調整前四半期 (当期)純利益	6,645,060	10.3	7,232,619	9.1
法人税、住民税及び事業税	2,477,770	3.9	3,492,565	4.4
法人税等調整額	337,686	0.5	199,106	0.2
少数株主利益	111,226	0.2	109,012	0.1
四半期(当期)純利益	3,718,377	5.7	3,830,148	4.8

3. 要約連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当第3四半期連結会計期間 〔自平成15年4月1日 至平成15年12月31日〕		前連結会計年度 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資本剰余金の部)				
・ 資本剰余金期首残高		13,277,609		13,277,609
・ 資本剰余金増加高				
自己株式処分差益	1,060	1,060		
・ 資本剰余金期末残高		13,278,670		13,277,609
(利益剰余金の部)				
・ 利益剰余金期首残高		23,211,181		
連結剰余金期首残高				20,354,807
・ 利益剰余金増加高				
四半期(当期)純利益	3,718,377	3,718,377	3,830,148	3,830,148
・ 利益剰余金減少高				
配当金	1,058,456		888,675	
役員賞与	59,212		54,501	
連結子会社売却による減少高		1,117,668	30,597	973,773
・ 利益剰余金期末残高		25,811,891		23,211,181

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自平成15年4月1日至平成15年12月31日）

（単位：千円）

	化成品	建装材	住器建材	電 子	そ の 他	計	消去又は全社	連 結
・売上高及び営業利益								
売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	19,125,305	19,014,225	22,116,312	3,193,057	1,251,294	64,700,196	-	64,700,196
(2)社外間の内部売上高又は振替高	1,871,484	3,466,711	-	-	-	5,338,195	(5,338,195)	-
計	20,996,789	22,480,936	22,116,312	3,193,057	1,251,294	70,038,391	(5,338,195)	64,700,196
営業費用	19,351,365	18,725,453	19,770,798	3,066,943	1,128,003	62,042,564	(4,147,969)	57,894,594
営業利益	1,645,424	3,755,483	2,345,514	126,114	123,291	7,995,827	(1,190,225)	6,805,601

前連結会計年度（自平成14年4月1日至平成15年3月31日）

（単位：千円）

	化成品	化粧板	住器建材	電 子	そ の 他	計	消去又は全社	連 結
・売上高及び営業利益								
売 上 高								
(1)外部顧客に対する売上高	22,183,487	24,301,110	27,878,424	4,075,370	1,239,839	79,678,232	-	79,678,232
(2)社外間の内部売上高又は振替高	2,360,861	4,751,691	-	-	-	7,112,553	(7,112,553)	-
計	24,544,349	29,052,802	27,878,424	4,075,370	1,239,839	86,790,785	(7,112,553)	79,678,232
営業費用	22,571,728	23,750,787	25,563,428	4,090,035	1,183,142	77,159,121	(5,667,433)	71,491,687
営業利益	1,972,621	5,302,014	2,314,996	(14,665)	56,697	9,631,664	(1,445,119)	8,186,545

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

事業区分は、製品の種類、販売市場等を勘案し行っており、各事業区分の主要製品は次のとおりであります。

化 成 品 外装・内装仕上塗材、塗床・壁材、各種接着剤

建 装 材 メラミン化粧板、化粧合板

住器建材 玄関・室内用ドア、インテリア建材、カウンター、収納扉、不燃化粧材

電 子 プリント配線板、電子システム商品

そ の 他 保存剤、他

2. 当第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、1,191,915千円及び1,444,698千円であり、その主なものは、一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

(事業セグメント名称の変更)

平成16年3月期から、事業セグメント名称を「化粧板」から「建装材」へ変更しております。